

仙台市地震ハザードマップ Earthquake Hazard Map

長町一利府線断層帯地震 による液状化危険度マップ
Liquefaction Hazard Map for the Nagamachi-Rifu Line fault zone Earthquake

太白区版 Taihaku Ward

液状化危険度 (PL値:液状化指数) Liquefaction Hazard Level (PL value: Liquefaction Potential Index)

	極めて高い Extremely high	(20<PL)
	高い High	(10<PL≤20)
	やや高い Moderately high	(5<PL≤10)
	低い Low	(0<PL≤5)
	かなり低い Quite low	(PL=0)

《 液状化危険度マップ 》

このマップは、宮城県第五次地震被害想定調査報告書(令和5年11月)の算定手法に基づいて、市内全体を250m四方に区分した区域(メッシュ)に分割し、地震の規模や震源の距離等から予測される「地盤の液状化の危険度」を表示したものです。

なお、メッシュの境目が地盤の液状化の危険度の境界を示すわけではありません。また、設定した震源特性や地下構造には不確定な部分があるため、地震の発生の仕方によって、実際の液状化の発生箇所や規模は変動することがあります。

《 長町一利府線断層帯地震：想定した地震規模：マグニチュード7.5 》

この地震は、仙台市から利府町にかけて、ほぼ南北に延びる長さ約40kmの活断層を震源とする直下型地震です。この断層の活動間隔は、3,000年程度以上であると推定されており、最新活動時期は、約16,000年前以後にあったと考えられています。

